

新・山手樹一郎著作年譜 補遺Ⅳ

影
山
亮

本稿は『立教大学大学院日本文学論叢』第十三号（平成二五年一月）、立教大学大学院日本文学専攻）に掲載した、「新・山手樹一郎著作年譜」の補遺の第四弾である。

ゴシック体の太字になっている著作は、今回新たに発掘した著作だ。各著作の発表月日、巻号に関しては、全て新発掘と見なしている。また単行本や全集には再録はされていることから著作名は知られていても、初出紙誌などが不明だった著作もあるが、この場合は初出年月、初出紙誌をゴシック体の太字にしている。さらに同年同月同日に発表された著作は、五〇音順に並べた。加えて連載ものの初出紙誌月日の巻号が「？」になっている場合があるが、これは連載開始時の巻号は判明したものの、連載終了時の巻号は様々な施設や方法で調査したものの確認出来なかったからである。「※」が付いている著作は、広告などでその存在が明らかになったが、当該の巻号の紙誌を確認出来ないものである。

3 1	2 ?	2 1	2 1	大正一〇(一九二一)年	9 ?	9 1	9 1	8 ?	8 1	8 1	8 1	4 ?	4 1	4 1	月 日
春をまつ	地獄谷※	おかさぬ罪	悪口のいじまひ		怪しい船※	編集室より	帰らぬ少女	十三本の針※	闇の光	編集室より	大磯―平塚	姉サマオモヒ※	編集室より	お頭の赤い糸	作品名・書名
井口長二	井口長二	井口長二	井口長二		井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二等〔註1〕	井口長二	長二・かつら	井口長二	井口長二	井口長二	執筆名
後記	小説	小説	後記		小説	後記	小説	小説	小説	後記	随筆	小説	後記	小説	種類
少女号	小学画報	少女号	少女号		小学画報	少女号	少女号	小学画報	少女号	少女号	少女号	幼女号	少女号	少女号	初出誌・紙名
6・3	二月号	6・2 3	6・2		九月号	5・9	5・9 10	八月号	5・8 5	5・8	5・8	四月号	5・4	5・4	巻・号
															初刊本

1	1	大正二一（一九二二）年	11	11	10	9	9	9	8	7	7	6	5	5	4	月
1	1		?	1	1	1	?	1	1	?	1	1	1	1	1	日
焚火	宿なし犬		才城ノキツネ※	ゆで栗	秋風	惜しいばうふら	重太郎ヒヒ退治※	惜しいばうふら	メートル	二陣笠ノ試合※	ばうふらの踊	一大事	逗子と葉山	ステツキの話	黒い影	作品名・書名
井口長二	井口長二		井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	長二・かつら	井口長二	井口長二	執筆名
小説	後記		小説	後記	後記	後記	小説	後記	後記	小説	後記	後記	随筆	後記	小説	種類
少女号	少女号		小学画報	少女号	少女号	少女号	小学画報	少女号	少女号	小学画報	少女号	少女号	少女号	少女号	少女号	初出誌・紙名
7・1	7・1		十一月号	6・11	6・10	6・9	九月号	6・9	6・8	七月号	6・7	6・6	6・5	6・5	6・4 6・9	巻・号
																初刊本

11 1	11 1	10 ?	10 1	10 1	9 ?	9 ?	9 1	9 1	7 ?	7 1	7 1	6 ?	6 1	4 1	3 1	月 日
涙の味	泣きまね	カヘリウチ※	焼屋根に水	秋の声	タイコチガヒ※	故郷の山※	夢の少女	飛行機と飛行船	迷子ノ君代サン※	母の胸	「どういふんだらう」	僕ガホエタラ※	胃袋の失敗	記者より	たなおろし	作品名・書名
井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	長二	井口長二	執筆名
後記	小説	小説	後記	小説	小説	小説	小説	後記	小説	小説	後記	小説	後記	後記	後記	種類
少女号	少女号	小学画報	少女号	少女号	小学画報	少年少女文庫	少女号	少女号	小学画報	少女号	少女号	小学画報	少女号	小学新報	少女号	初出誌・紙名
7・11	7・11	十月号	7・10	7・10	九月号	?	7・9	7・9	七月号	7・7	7・7	六月号	7・6	第十三号	7・3	巻・号
																初刊本

8	4	4	3	大正一三(一九二四)年	9	5	4	3	3	1	大正二二(一九二三)年	12	12	12	11	月		
?	1	1	1		1	1	1	?	1	1		?	1	1	1	?	日	
オイシヤト大臣※	引越しの日に	すつてんころり	天才のうはさ		シヤツクリ・デー	このころの話	松葉屋の娘	磯畑伴蔵※	ボーイのために	おしまひの原稿		先生ノヲバサン※	来年のこと	踏切番の娘	タイヘンナワケ※	作品名・書名		
井口長二	井口長二	るぐち・ちやうじ	井口長二		井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	井口長二		井口長二	井口長二	井口長二	井口長二	執筆名		
小説	小説	後記	随筆	大正一三(一九二四)年	後記	後記	小説	小説	後記	後記	大正二二(一九二三)年	小説	後記	小説	小説	種類		
幼女号	少女号	少女号	郊外		少女号	少女号	郊外	少年少女文庫	少女号	少女号		少女号	小学画報	少女号	少女号	小学画報	初出誌・紙名	
八月号	9・4	9・4	2・5		8・9	8・5	1・1	?	8・3	8・1		十二月号	7・12	7・12	十一月号	卷・号		
																		初刊本

4 1	叱られ祝言	山手樹一郎	小説	冒険とユーモア 奇譚	1・1	『うぐいす侍』S15 (1940) 1月・博文館
4 1	大井川先陣	山手樹一郎	小説	大衆倶楽部	3・5 5・6	
昭和一〇(一九三五)年						
10 1	彌次郎走る	山手樹一郎	小説	大衆倶楽部	2・10	
4 1	丹波路曇り	山手樹一郎	小説	大衆倶楽部	2・4	
昭和九(一九三四)年						
2 ?	スクヒノ舟 [※]	井口長二	小説	小学画報	二月号	
大正一五(一九二六)年						
11 1	お話二つ	みぐち・ちやうじ	後記	少女号	10・11	
8 1	有名なお鼻	みぐち・ちやうじ	後記	少女号	10・8	
7 1	闇をゆく影	井口長二	小説	少女号	10・7 ? ?	
7 1	ないしよ話	井口長二	後記	少女号	10・7	
2 ?	小サイ天才 [※]	井口長二	小説	幼女号	二月号	
大正一四(一九二五)年						
10 1	畑あらし	みぐち・ちやうじ	後記	少女号	9・10	初刊本
	作品名・書名	執筆名	種類	初出誌・紙名	巻・号	

昭和三〇(一九五五)年	3 1	十両という金	山手樹一郎	随筆	地上	3月号	
	9 1	江戸の恋風	山手樹一郎	小説	読物と講談	8・13 ? ?	
	3 1	泣蟲街道	山手樹一郎	小説	読切読物倶楽部	68	
2 28	一切不明	山手樹一郎	随筆	毎日新聞			
昭和二八(一九五三)年							
11 23	私のおしゃれ	山手樹一郎	随筆	毎日新聞			
5 20	櫛	山手樹一郎	小説	京都新聞			『黒門町伝七捕物百話』第七卷 S 29(1954)10月・桃源社
昭和二六(一九五一)年							
2 1	梅の雨	山手樹一郎	小説	実話と読物			『恋かたぎ侍話』S 25(1950) 11月・東方社
昭和二四(一九四九)年							
9 ?	多恵姫行状記	山手樹一郎	小説	大衆読物		創刊号	
7 1	貞女〔註3〕	山手樹一郎	小説	月刊中国		3・7	
昭和二三(一九四八)年							
10 30	事務室記〔註2〕	山手樹一郎	後記	くろがね会報		1・1	初刊本
月 日	作品名・書名	執筆名	種類	初出誌・紙名	巻・号		

1	1	序にかえて	山手樹一郎	序文	単行本書き下ろし		7月・東洋書房
1	1	小説の嘘	山手樹一郎	随筆	地上	1月号	
		昭和三五(一九六〇)年					
3	28	映画 大名囃子の感想	山手樹一郎	対談	神戸新聞		
		昭和三二(一九五七)年					
12	1	東映ファンの弁	山手樹一郎	随筆	時代映画	12月号	
11	1	苦難を越えて優勝へ	山手樹一郎	座談会	野球界	46・11	
10	10	本物の味	山手樹一郎	随筆	毎日新聞		
8	14	大名囃子	山手樹一郎	小説	神戸新聞	翌年3月28日	『大名囃子』S32(1957) 9月・東京文芸社
8	12	「大名囃子」の主人公	山手樹一郎	対談	神戸新聞		
		昭和三一(一九五六)年					
2	20	晩酌の肴	山手樹一郎	随筆	毎日新聞		
2	14	歴史物を目ざして	山手樹一郎	随筆	毎日新聞		
1	30	気にしない夕チ	山手樹一郎	随筆	毎日新聞		
1	1	深夜の顔	山手樹一郎	随筆	読物娯楽版	1・1	初刊本
		作品名・書名	執筆名	種類	初出誌・紙名	巻・号	
		月日					

月日	作品名・書名	執筆名	種類	初出誌・紙名	巻・号	初刊本
9 20	無題〔註4〕	山手樹一郎	推薦文	単行本書き下ろし		中村豊秀『脱・東京実験記』 S 49 (1974) 9月・日本文芸社
10 20	乱世に備えて	山手樹一郎	推薦文	単行本書き下ろし		風巻絃一『武将の一言』S 48 (1973) 10月・日本文芸社
11 10	浅草の観音さま	山手樹一郎	随筆	毎日新聞		
1 1	門に柳	山手樹一郎	随筆	芸術新潮	22・1	

【註】

(1) 大正九「一九二〇」年二月『少女号』五卷一二号に発表された「最後の格闘」は井口長二、山内秋生、鹿島鳴秋、清水かつらの合作冒険小説「闇の光」の一部である。

(2) 海軍外郭団体のくろがね会が発刊していた『くろがね会報』の「事務室記」を山手は担当していた。一卷一号の「事務室記」には山手の名があるが、それ以降の巻号には名は記されていない。本年譜では、名が記されている当該号のみ著作と見なし、加えた。

(3) 「貞女」は後年、全集等に入る際は「貞女さんげ」と改題されている。

(4) この文章は中村豊秀『脱・東京実験記』に対しての推薦文であるが、題名がないため無題とした。

【紙誌出版社一覧】

『郊外』（郊外社）／『冒険とユーモア 奇譚』（奇譚社）『小学画報』（小学新報社）／『小学新報』（小学新報）／『幼女号』（小学新報社）／『少女号』（小学新報社）／『少年少女文庫』（小学新報社）／『大衆倶楽部』（大衆倶楽部発行所）／『大衆読物』（創世社）／『野球界』（博友社）／『実話と読物』（博文閣）／『読物倶楽版』（双葉社）／『読切読物倶楽部』（公友社）／『読物と講談』（公友社）／『時代映画』（時代映画社）／『地上』（家の光協会）／『くろがね会報』（くろがね会）／『月刊中国』（中国新聞社）／『芸術新潮』（新潮社）／『京都新聞』（京都新聞社）／『神戸新聞』（神戸新聞社）／『毎日新聞』（毎日新聞社）

（かげやまりよう 本学大学院博士課程後期課程在学学生）